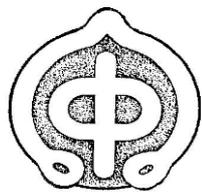


—開校 61 周年 新たなる伝統への一期生—



# 学校だより

平成 30 年度 第 11 号

発行日 3 月 18 日

練馬区立大泉第二中学校

校長 関 基雄

<http://www.ooizumi2-nerima-tky.ed.jp>

## 有終の美を飾ろう

校長 関 基雄

いよいよ平成 30 年度が終わろうとしています。1 月の学校便りにも書いたように、平成の元号を使っていくのも最後となります。4 月には新しい元号が発表されるということで、巷では様々な予想がされていますが、さて皆さんはどんな元号になると思いますか。発表が待たれるところです。

ところで日本には「有終の美を飾る」とか「終わりよければ全てよし」、「立つ鳥跡を濁さず」など物事の終わり方を大切にすることがあります。宴会などでも最後は必ず「締め言葉」などがあります。ちなみに英語でそのような言葉があるのかと英語の先生に聞いたところあまり見当たらないということでした。英語では逆に「well begun is half done!」（よいスタートができれば半分できたもおなじこと）という言葉があり、どちらかというとも終わりよりもスタートの方を大切にしているようだということでした。

どうも終わりを大切にするのは日本ならではの文化のようですが、終わりというものは次への始まりです。1 つ 1 つの終わりに振り返りをしていくことはとても大切なことです。1、2 年生の皆さんはそれぞれ進級していくためにこの 1 年で達成できたこと、課題として残っていることをしっかりまとめておくことが大切です。そして、3 年生の皆さんにとって明日はいよいよ卒業式です。次へのステップのために、今日渡される通知表をよく見て、この 3 年間の生活を振り返ってみてください。ここまでいろいろなことがあったことでしょう。けっしていいことばかりではなかったと思います。いろいろな人との関係で解決できていなかったことなどはありませんか。中学校生活はあと 1 日です。残された卒業式の日には君たち同士、そして君たちの卒業を祝う全ての人が気持ちよく卒業式を迎えられるように心がけ「有終の美」を飾ってほしいと思います。

保護者の皆様におかれましてはこの 1 年間本校の様々な教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。先月お示した学校評価なども踏まえ次年度もよりよい教育活動を行っていく所存です。3 年生の保護者の皆様にはこれまでのご協力に感謝し、1、2 年生の保護者の皆様には今後とも更なるご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

これにて本年度学校便り締めのあいさつとさせていただきます。

## オリンピック・パラリンピック教育

---

開会式まであと500日を切りました。東京大会出場を目指すアスリート、日本ブラインドサッカー日本代表・主将の川村 怜 選手を招待して講演会を行いました。障害をもっていても私たち以上に強い意志をもって夢を追いかけ、努力し、実現に向かって生きている姿勢に一同、感動を受けました。私たちは、これからも川村選手を応援していきます。



## 地域交流

---

2月14日（木）、大泉子ども家庭支援センター「大泉ぴよぴよ」に手芸部が訪問しました。文化発表会で展示した共同製作作品「子どもが遊べる！布のお菓子の家」を幼児に遊具として使ってもらえるようにと思いを込めて贈りました。交流が一層深まることを期待します。



## 合唱コンクール

---

第33回合唱コンクールが、練馬文化センターで行われました。平日にもかかわらず、500名を超える保護者、地域の方々が参観され、盛大に行われました。特別審査員・塚田真夫先生より、「温かい拍手ができる素晴らしい学校」「マナーがとてもよく合唱と同じくらい鑑賞態度も素晴らしかった」と評価していただきました。協力する大切さをこれからも大事にしていきたいと思っています。



## 4月・主な学校行事

---

4/8（月）始業式	4/12（金）保護者会（2・3年）
4/9（火）入学式	4/17（水）"（1年）
4/10（水）給食開始（2・3年）	4/18（木）国・学力調査（3年）
4/11（木）"（1年）	4/27（土）土曜授業日・離任式